

近畿・中国四国地方向け中生晩熟期

低アミロースの水稻新品種「姫ごのみ」

低アミロース米は粘りが強く食味のよいお米で、通常のウルチ米と混ぜて炊飯すると、食味を向上させる効果があります。そこで、このような低アミロース米で、近畿および中国・四国地方の平野部での栽培に適した中生の晩熟期の新品種「姫ごのみ」が近畿中国四国農業研究センターにおいて開発されました。

☆ 技術の概要

1. 新品種「姫ごのみ」は、白米のアミロース含有率が8~9%の低アミロース米で、近畿および中国・四国地方の平坦部で広く栽培されている「ヒノヒカリ」と同じ中生の晩熟期の品種で、同じ低アミロース米の「柔小町」よりも出穂が6日程早まります。
2. 穂発芽性は“やや難”、耐倒伏性は「ヒノヒカリ」と同程度の“やや強”、穂いもち抵抗性は“中”、縞葉枯病に抵抗性を有し、白葉枯病抵抗性は“中”にランクされます。
3. 収量は移植栽培の場合では「ヒノヒカリ」、「柔小町」より多収で、玄米の外観品質も勝ります。
4. 食味は「ヒノヒカリ」並みの“上中”にランクされます。

調査年次	移植栽培・標肥		移植栽培・標肥	
	姫ごのみ	ヒノヒカリ	姫ごのみ	柔小町
早晩性	中生の晩	中生の晩	中生の晩	晩生の晩
出穂期(月・日)	8.21	8.22	8.22	8.28
成熟期(月・日)	10.1	10.1	10.3	10.9
稈長(Cm)	86	86	87	91
穂長(cm)	20.4	18.6	20.6	20.4
穂数(本/m ²)	343	360	343	343
耐倒伏性	やや強	やや強	やや強	やや強
葉いもち耐病性	中	やや弱	-	(やや弱)
白葉枯耐病性	中	やや弱	-	(やや弱)
縞葉枯耐病性	抵抗性	罹病製	-	(罹病製)
穂発芽性	やや難	難	-	(中)
精玄米重(kg/a)	57.4	55.1	59.0	59.0
玄米品質(1~9)	3.6	4.9	3.5	5.5
食味	上中	上中	-	上中
アミロース含有率(%)	8.4	15.5	-	11.9



図1 玄米と籾の比較プレス

資料より一部抜粋

近畿中国四国農業研究センター平成21年度成果情報より一部抜粋

☆ 活用面での留意点

近畿および中国四国地方の平坦部に普及が期待できるはじめての中生晩熟期の低アミロース米品種で、中山間部での普及も見込まれます。低アミロース米のため、玄米はやや白濁します。

詳細につきましては、近畿中国四国農業研究センター 米品質研究近中四サブチーム (TEL: 084-923-4100) へお問い合わせ下さい。